



上) 校歌を作詞した佐野さん（左）と、作曲した大久保さん（右）  
下) 大久保さんの指揮により児童生徒が校歌を斉唱



旧白糠中学校を大規模改修し、白糠学園として開校しました。西側（写真左側）には、白糠学園の特別教室や白糠こども園、子育て支援センター等を増築。白糠学園の校舎と渡り廊下でつながっています。

# 町立白糠学園 開校式典

庶路学園に続く町内2校目の義務教育学校として、白糠学園が開校しました。白糠学園は、白糠こども園や子育て支援センター等を併設した施設で、0歳から15歳までが切れ目なく学ぶことができます。「子育て応援日本一の町」を掲げる本町に、安心して教育ができる新たな拠点が誕生しました。



開校式典には、1年生から9年生までの児童生徒が出席

新しい校歌を作詞した北海道教育大学釧路校の佐野比呂己教授と、作曲した白糠町出身の大久保光哉さんが紹介され、滝川校長から二人にそれぞれ感謝状が手渡されました。続いて、大久保さんの指揮により、全児童生徒が校歌を斉唱。これまで練習を重ねてきた成果を披露し、新たな一歩を踏み出しました。

新しい校歌を作詞した北海道教育大学釧路校の佐野比呂己教授と、作曲した白糠町出身の大久保光哉さんが紹介され、滝川校長から二人にそれぞれ感謝状が手渡されました。続いて、大久保さんの指揮により、全児童生徒が校歌を斉唱。これまで練習を重ねてきた成果を披露し、新たな一歩を踏み出しました。

北海道教育庁釧路教育局の相川芳久局長は「この校舎で勉強できる幸せを胸に、さまざまなことに挑戦し、有意義な学校生活を送ってください」、町議会の富田忠行議長は「新たな学習環境の中で、一層勉学や部活動に励み、やがて地域を支える人材となってほしい」と、それぞれ祝辞を述べました。

感性を高める教育を進めてまいります」とあいさつしました。続いて、児童生徒代表の廣橋謙吾君（9年生）が「白糠学園生として、これまでの白糠小学校と白糠中学校の歴史と伝統を引継ぎ、新たなすばらしい学校を築き上げていきます」と決意を新たにしました。

滝川校長は「9年間の連続した学びを通して、たくましく、そして、しなやかに生きていくために必要な力を育む教育、ふるさとへの誇りと愛着を深め、感性を高める教育を進めてまいります」とあいさつしました。続いて、児童生徒代表の廣橋謙吾君（9年生）が「白糠学園生として、これまでの白糠小学校と白糠中学校の歴史と伝統を引継ぎ、新たなすばらしい学校を築き上げていきます」と決意を新たにしました。

式典では、川島眞澄教育長が開校を宣言。棚野孝夫町長が、「白糠学園は『ふるさとを愛し、未来を拓く』という教育理念のもと、子どもたちの未来につながる感性と創造力を育みます」と式辞を述べました。その後、棚野町長から滝川敦善校長へ、新しい校章が入った校旗が手渡されました。

ふるさとを愛し、  
未来を拓く白糠学園



白糠学園の建設事業に関わった工事関係者の皆さんに棚野町長から感謝状が贈呈



児童生徒代表の廣橋君が誓いの言葉を述べました



白糠学園の滝川敦善校長によるあいさつ



棚野町長から滝川校長へ校旗が手渡されました



棚野町長による式辞



川島教育長による開校宣言

※今後、広報しらぬかや町ホームページ等では、町立白糠学園を「白糠学園」として、社会福祉法人北海道社会福祉事業団白糠学園は「社福白糠学園」または「(福)白糠学園」として掲載いたします。